

定例「年次総会」開催さる つづいて「西尾幹二氏を囲む夕べ」も

さる2月20日に開催された当フォーラム年次総会では、1月10日に開催された世話人会(1頁)の審議結果が報告されたが、そのあと西尾幹二氏を囲み「古代日本は既に国家であり文明圏であった」と題するお話を聴き、そのあと同氏と懇談を行った。

当日は、石井一二、金子熊夫、高橋一生、豊永恵哉、三好正也、山口達男、伊藤憲一、太田博等のオールド・メンバーに加え、植田隆子、江畑謙介、大谷信盛、小山内高行、河野勝、小島敦、坂本正弘、竹田いさみ、田中俊郎、宮崎緑のニュー・メンバーも出席して、総勢23名で夜遅くまで歴史論や文明論を満喫した。

司会の伊藤世話人事務局長より「74万部という驚異的なロングセラー『国民の歴史』の著者」として紹介された西尾幹二氏(電気通信大学教授)は、「世界のあらゆる民族は、絶対者に絶



基調講演を行う西尾氏(中央)

事務局便り

定例の「年次総会」とそれにつづく「西尾幹二氏を囲む夕べ」(上欄)には、早速多数の新規メンバーの皆さんに参加していただき、会場の雰囲気もぐっと若返った感じ。伊藤事務局長は思わず、向いの席の三好正也メンバーや豊永恵哉メンバーに向かって「(創立当時の)20年前にはわれわれも若手でしたよねえ」と、感慨ひとしおの趣。

事務局も新たな気持ちで会員の皆様を支えてまいりますので、よろしく応援をお願いいたします。

対的な規範・原理を持たせているが、日本には絶対者が欠けている。しかし、これは弱点ではない。ここから異質なものをすべて受け入れ、他との対決を避け、自他の区別を明確にしないまま応接、貯蔵し、混雑性を豊かに蓄積していく多様性や、外来のいいものを獲得し、要らないものは黙って捨てるという主体性が生まれている。無文字社会の時代から日本列島には多様な民族や文化が包容され、ひとつの自然風物の中で、文化的統一性が生まれた。それは中国や朝鮮半島とは別で、ヨーロッパとも違うひとつの文明であった。こうした中で、日本に国家意識が生まれたのは7世紀頃で、これはヨーロッパという共通意識が誕生する約300年前であり、ウェストファリア体制という単一国家体制が成立する約1000年も前のことであった」との講演を行った。出席者との間では引き続き日本文明の独自性やアイデンティティのあり方について、掘り下げた議論が交わされた。

謝 辞

当フォーラムの諸活動の主要な財政的基盤は、その経済人世話人および経済人メンバーの所属する企業の納入する賛助会費にあります。

現時点における賛助会費納入企業は、下記の17社25口です。ここに特記して謝意を表します。

[経済人世話人所属企業][5口]

トヨタ自動車 キックーマン

[経済人メンバー所属企業][1口]

住友電気工業 鹿島建設 新日本製鐵
東京電力 さくら銀行 富士通
第一勧業銀行 旭硝子 東京三菱銀行
日本電信電話 東京海上火災保険
富士ゼロックス ビル代行
日本原子力発電 松下電器産業

(入会日付順)

塩崎恭久衆議院議員を招き「国際政経懇話会」開催

当フォーラム・日本国際フォーラム・日本予防外交センターの三者共催による第130回国際政経懇話会は、12月14日、当フォーラム政界人メンバーの塩崎恭久衆議院議員を講師に招き、「日本再生へ向けての当面の課題」と題する講話を聴いた。

塩崎氏は、日本の政治、経済のガバナンスの再構築の必要性や、日本再生に向けたビジョンのあり方等につき、明快な展望を指し示しながら語り、その後の質疑に応えた。



講話を行う塩崎議員(左)

フォーラム活動日誌(12-2月)

12月10日「日韓対話/日本と韓国:新たなパートナーシップのための基盤の構築」開幕夕食会(伊藤憲一世話人事務局長主催)

12月11日同上「日韓対話」本会議I・講演昼食会・本会議II(韓昇洙元韓国副首相他56名)

12月11日同上「日韓対話」閉幕夕食会(伊藤憲一世話人事務局長宅)

12月14日第130回国際政経懇話会(塩崎恭久衆議院議員他27名)

12月20日第7回補佐人会にて2000年度収支決算監査(笠間正治、片岡晃、平田将士各補佐人他3名)

1月10日第11回世話人会(豊田章一郎、茂木友三郎、石井一二、鳩山由紀夫、島田晴雄、伊藤憲一、太田博各世話人他4名)

2月20日第15回総会および西尾幹二氏を囲む夕べ「古代日本は既に国家であり文明圏であった」(石井一二世話人他22名)

2月28日第131回国際政経懇話会(黒田東彦財務省財務官他28名)



グローバル・フォーラム会報
2001年春季号
(第2巻 第2号 通巻第6号)

発行日 2001年4月1日
発行人 伊藤 憲一
編集人 宮坂 珠実

発行所 グローバル・フォーラム
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12-1301
[Tel] 03-3584-2190 [E-mail] jfir@mars.dti.ne.jp
[Fax] 03-3589-5120 [URL] http://www.gfj.gr.jp/